

中干しの徹底で過剰生育防止

1 生育概況(コシヒカリ 6/30現在)

現在の生育(指標値比)

平坦地	草丈:長い (112%)	茎数:多い (110%)	葉数:やや早い (+0.5)	葉色:濃い (SPAD値+3.5)
中山間地	草丈:並 (104%)	茎数:並 (97%)	葉数:並 (+0.2)	葉色:並 (SPAD値-0.5)

○極端に遅植えのほ場を除いて茎数は多くなっています。また、葉色濃いめ、草丈長めのほ場が多く、茎質は軟弱です

○「コシヒカリ」の出穂期(平坦地・5月10～15日頃の移植)は、平年並の8月3日頃の見込みです。

2 調査結果（普及センター、JA調査ほ）

(1)コシヒカリ

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本／㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
平坦地	今熊 (浦川原)	14	5/12	70	111%	140%	608	株当 28.8	82%	124%	11.0	+0.9	+1.0	44.0	+2.7	+5.0	
	飯室 (浦川原)	13	5/16	52	96%	104%	466	株当 29.5	88%	95%	10.0	+0.2	0.0	40.9	-1.4	+1.9	
	平均			61	103%	122%	537	29.2	84%	110%	105.0	+0.5	+0.5	42.5	+0.7	+3.5	
	宮口 (牧)	71	5/21	46	100%	92%	448	株当 22.5	113%	91%	9.3	-0.2	-0.7	37.7	-3.3	-1.3	全量基肥 肥料
中山間地	和田 (安塚)	133	5/18	53	87%	106%	521	株当 26.6	98%	106%	10.1	-0.7	+0.1	40.2	-2.7	+1.2	
	大島 (大島)	152	5/16	55	100%	110%	486	株当 24.9	90%	99%	10.5	+0.2	+0.5	38.2	+0.2	-0.8	
	菖蒲 (大島)	337	5/26	47	80%	94%	400	株当 19.3	75%	82%	10.0	-0.2	0.0	37.1	-4.3	-1.9	
	高尾 (牧)	340	5/19	51	-	102%	483	株当 27.6	-	99%	10.2	-	+0.2	38.4	-	-0.6	
	平均			52	90%	104%	473	24.6	88%	97%	10.2	-0.2	+0.2	38.5	-2.3	-0.5	

(2)こしいぶき

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本／㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
平坦地	長走 (浦川原)	23	5/17	49	86%	94%	344	株当 18.4	81%	72%	9.7	0.0	-0.5	41.3	-3.6	+1.3	

(3)つきあかり

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本／㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
中山間地	高尾 (牧)	285	5/21	59	91%	118%	335	株当 13.5	92%	93%	9.3	-1.1	+0.3	38.4	-5.4	-3.6	全量基肥 肥料

3 今後の管理のポイント

- 「コシヒカリ」は引き続き、中干しを徹底し、過剰生育を防止しましょう。
- 中干しを終了するほ場では、浅水の間断かん水を実施して根の健全化を図り、徐々に飽水管理へ移行してください。急激な湛水は、根腐れや下位葉の枯れ上がりにつながります。
- 早生品種は平年より1日程度早く、前年並みの出穂予想です。穂肥が遅れないよう注意しましょう。
(5月上旬の移植で、こしいぶきの出穂は7/24日頃、1回目の穂肥は7/1頃の見込みです。
つきあかりの出穂は7/22日頃、2回目穂肥時期は7/8日頃の見込みです。)
- 例年同様、病虫害発生予察調査でカメムシ類が確認されています。イネ科雑草が結実しない3週間程度の間隔で農道・畦畔の草刈りを行い、本田防除も徹底しましょう。
- ※用水の確保が難しいほ場では、降雨による水の入替えにより根の健全化に努めましょう。